

# えんとこ

1999年度 伊勢真一 演出作品  
カラー／16mm／100分  
企画・製作 映画「えんとこ」製作委員会  
一隅社／クロスフィット



だって、  
君はひとりで勝手に  
何かをやってゆくことなんて  
出来ないだろう？

「えんとこ」縁のあるトコ。寝たきりの障害者、遠藤滋のいるトコ。  
この映画は遠藤滋と介助の若者達との日々を  
3年間にわたって記録したドキュメンタリーです。



# えんとこ ありのままの命にカンパイ!!

君が今やりたいことを、まっすぐに人に伝えながら、  
出来ないことは、みんなに手伝ってもらって、堂々と生きてゆきなさい。  
先回りして、人がどう思うだろうか、これは、いけないことではないかとか、  
勝手にひとりで考えてやめてしまう必要なんかないんだよ。

自分から逃げては、何も始まらない。  
そうして、自分が決めてやったことの結果を、  
どんなことでもすべて自分で生かしていったら、  
その時はきっと、いつの間にか、ますますすばらしい君になっているだろう。  
それは、人に迷惑になるどころか、逆に人と人が直接、  
そのいのちを生かし合って生きる。  
本当の人のあり方を、君に関わる全ての人に身を持って示して、  
それを実現してゆくことになるんだよ。

だって、君はひとりで勝手に何かをやってゆくことなんてできないだろう？

( 遠藤 滋「いのちの肯定に  
立つまでの私の歩み」より )



「奈緒ちゃん」「ルーベ」「見えない学校」に続く、伊勢監督の新作「えんとこ」は、  
学生時代の友人遠藤滋との再会がきっかけで製作されました。

## 「もう一度・・・」

演出・伊勢 真一

25年振りの再会が始まりました。

私は、12年間撮り続けて完成させた映画「奈緒ちゃん」を是非観てもらおうと、大学時代の友人、遠藤滋を訪れ、ベッドに寝たきりの彼と出会うおすことになったのです。

彼は、寝たきりの生活をもう10年近く続けていると言います。不自由な体を引き受けながら、自立したいという強い意志を持ち介助の若者達の力を借りて、一日一日を丁寧に生きている彼の姿に、心を動かされました。

遠藤が「俺を撮ってみたいか?」とさそいかけてるようにも思い、再会してまもなく私は撮影の安井洋一郎と共に、「えんとこ」と呼ばれる遠藤と若者達の居場所に通い始めることとなります。そして、ちょっとお茶でも飲み立ち寄るような気楽さで、気ままにカメラを回し、日常のあれこれを記録していきました。

一日24時間三交代、介助の若者達の存在抜きに遠藤は生きてゆけません。

若者達は、遠藤とかかわることで、実に生き生きとした表情を垣間見せてくれます。命を生かし合う関係、とでも言うのでしょうか・・・。

撮影が始まって3年目の夏、遠藤と若者達につきあって、伊豆の海に行きました。海の中で若者達に支えられながら、歩こうとする遠藤の姿を目のあたりにして、3年間の日々の営みの記録を、映画としてまとめてみようと思ったのです。

自分の足で歩こうとする遠藤のように、私は生きようとしているだろうか・・・。

もう一度、会うことになるとは思っていなかった、ひとりの友人との出会いなおしから生まれたドキュメント。「えんとこ」と呼ばれるささやかな、けれども切実な居場所の空気のようなものが伝わればそれでいい・・・。

「もう一度・・・」という思いから、もう一度始めてみよう。

- 撮影 …………… 安井洋一郎
- 音響 …………… 米山 靖
- 音楽 …………… 横内 丙午
- 録音 …………… 渡辺 丈彦
- 照明 …………… 三浦 方雄
- 企画 …………… 岩永 正敏
- 制作 …………… 野口 香織
- 大場 健二
- 塚塚 昌述
- 制作進行 …………… 助川 満
- タイミング …………… 笠原 征洋
- 絵 …………… 山下 菊二
- 制作協力 …………… ケア生活くらぶ
- 立教大学
- 東京都立城南看護学校
- 高島平はすのみ教室
- 臨海セミナー
- ヒポコミュニケーションズ
- 東京テレビセンター
- 読売スタジオ
- ヨコシネ D.I.A
- 製作 …………… 映画「えんとこ」製作委員会
- 一隅社
- クロスフィット
- テーマ曲 …………… 不屈の民
- (SERGIO ORTEGA & QUILA PAYUN)

「えんとこ」とは  
東京世田谷の住宅街にあるマンションの一室  
2DKが、遠藤滋と介助の若者達の居場所。  
この物語の舞台です。  
遠藤の居るところであり、縁のあるところ、と  
いう意味で「えんとこ」と名付けられた、そこ  
には生かし合う日々の暮らしがあります。

他人に言えない傷を  
持つ者もたくさんいます  
ここでは言葉も  
祝福されています  
— イサミ —

「遠藤君に会えたら、  
そんな人がいたらいいな...」  
武藤(ムーくん)

僕にとっては「ヒマな時友人宅に  
あがり込んで勝手に本を読んだり  
食ったり寝たりしているだけ」です。  
ヨシモト

「なんか居心地がいいです。  
あ、意外な自分」みつけ  
る本家かも? イタニ

なつかしくて、あ、たい。  
泉田